

宮城県仙塩工業用水道事業の紹介

○事業の主旨

仙台市、塩釜市及び近隣市町（仙塩地区）の工業開発の基盤整備の一環と地盤沈下が顕著であった仙台市宮城野区苦竹地区の地下水の代替水源として、給水能力一日最大100,000m³の工業用水を供給するため建設されたもの。

○事業の経緯

本事業は、仙塩特定地域総合開発計画の一環として、昭和32年度から昭和38年度までの7ヵ年で建設されたもので、昭和36年11月から仙塩地区へ給水を開始した。

昭和39年、仙塩地区を含む仙台湾地区が新産業都市に指定され、昭和46年の仙台港の開港等により工業導入も急速に進展、本工業用水道はそれら地域開発に寄与してきた。

平成元年度から建設を進めてきた仙台市泉地区及び黒川郡富谷町成田地区への給水区域の拡張工事も平成5年度に終了、平成6年4月より給水を開始し、現在に至る。

○ユーザーの概要

(平成17年4月1日現在)

業種	給水件数	契約水量 (m ³ /日)
食料品	8	3,130
出版印刷	2	200
窯業土石	3	400
電気機械	5	7,780
化学工業	1	720
電気	2	7,500
金属製品	3	500
輸送機械	1	300
石油	1	6,600
非鉄金属	1	840
その他	5	1,640
雑用水	13	3,750
合計	45	33,360

○工業用水道施設の概要

仙塩工業用水道は、一級河川名取川水系大倉川に建設された大倉ダムを水源としている。

大倉ダムからの放流水を大倉川下流広瀬川の仙台市青葉区に設置している四ツ谷堰の郷六取水口（一日最大 100,000m³）より取水し、農業用用水路、途中沈砂池を経てφ1,000mmの導水管で約9 km離れた仙台市宮城野区大槻にある大槻浄水場へ導水している。

浄水施設については、場内に中央操作室1棟、高速沈殿池4池、配水施設については、浄水場内に配水池2池、配水管φ100～1,350mm延長約70km、塩釜市に配水池2池、富谷町に配水池1池となっている。

○事業の特徴

仙塩工業用水道については、すべて浄化した水を供給している。

水質等

水温 1℃～25℃

濁度 10度以下

水素イオン濃度 PH6.0～8.0

総硬度 120mg/L以下

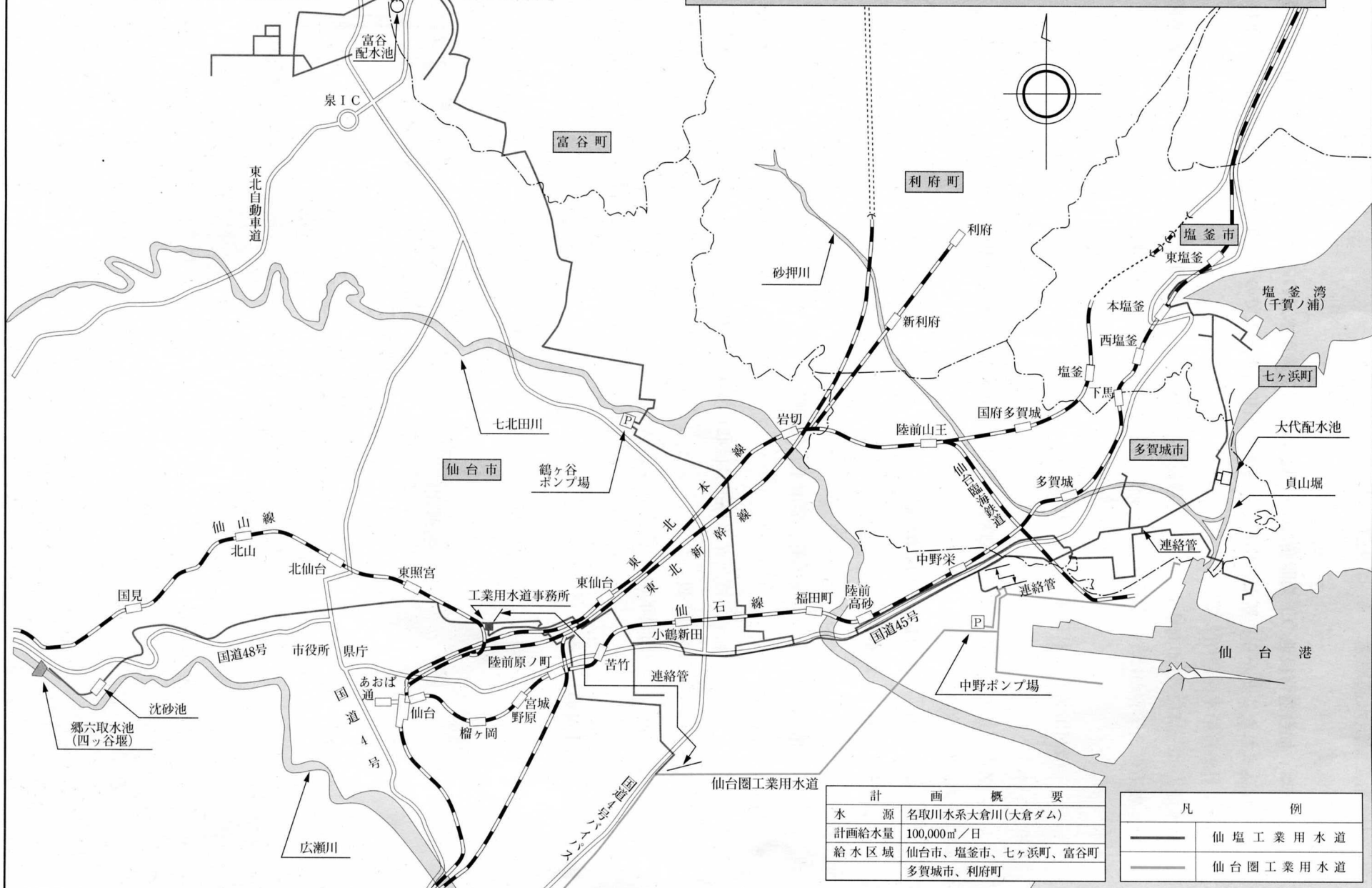
不測の事態に対応出来るよう、仙台圏工業用水道と連絡管で接続している。

○事業概要図（次ページ）

○宮城県企業局のホームページ

<http://www.pref.miyagi.jp/kg-suidou/>

仙塩工業用水道事業概要図



計 画 概 要	
水 源	名取川水系大倉川(大倉ダム)
計画給水量	100,000m ³ /日
給水区域	仙台市、塩釜市、七ヶ浜町、富谷町 多賀城市、利府町

凡 例	
	仙塩工業用水道
	仙台圏工業用水道